



「道の駅国見あつかしの郷」がもたらす

経済波及効果に関わる報告書

2022年10月31日



TOHO AREA RESEARCH INSTITUTE  
一般財団法人 とうほう地域総合研究所

TARI

# 【 目 次 】

はじめに .....	1
<b>I. 要約 .....</b>	<b>1</b>
1. 経済波及効果の概要	
2. 「道の駅国見あつかしの郷」がもたらした経済波及効果の試算結果	
<b>II. 国見町における経済波及効果.....</b>	<b>3</b>
1. 「道の駅国見あつかしの郷」建設による経済波及効果	
2. 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資による経済波及効果	
3. 「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出による経済波及効果	
4. 「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果	
<b>III. 福島県における経済波及効果.....</b>	<b>11</b>
1. 「道の駅国見あつかしの郷」建設による経済波及効果	
2. 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資による経済波及効果	
3. 「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出による経済波及効果	
4. 「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果	
<b>IV. 分析.....</b>	<b>19</b>
1. 売上目標額との比較	
2. 町内(県内)総生産に対する影響度	
3. 国見町と県内他市町村にもたらされた経済波及効果の比較	
<b>V. 結論.....</b>	<b>21</b>



## はじめに

国見町で古来より町のシンボルとして親しまれてきた「阿津賀志山」にちなんで名づけられた「道の駅国見あつかしの郷」は2017年度の開業以来、季節ごとに開催するフェスタやマルシェ等を通じて、桃やぶどう、新米などの旬の農産物を県内外の来場者に販売しています。この結果、2017年度から2021年度までの来場者数は、宿泊施設やレストランなどを含めて5年間で330万人を突破しています。

そこで本報告書では、「道の駅国見あつかしの郷」が国見町と福島県にもたらした経済波及効果を算出することにより、「道の駅国見あつかしの郷」の経済的な有効性について検証してみました。

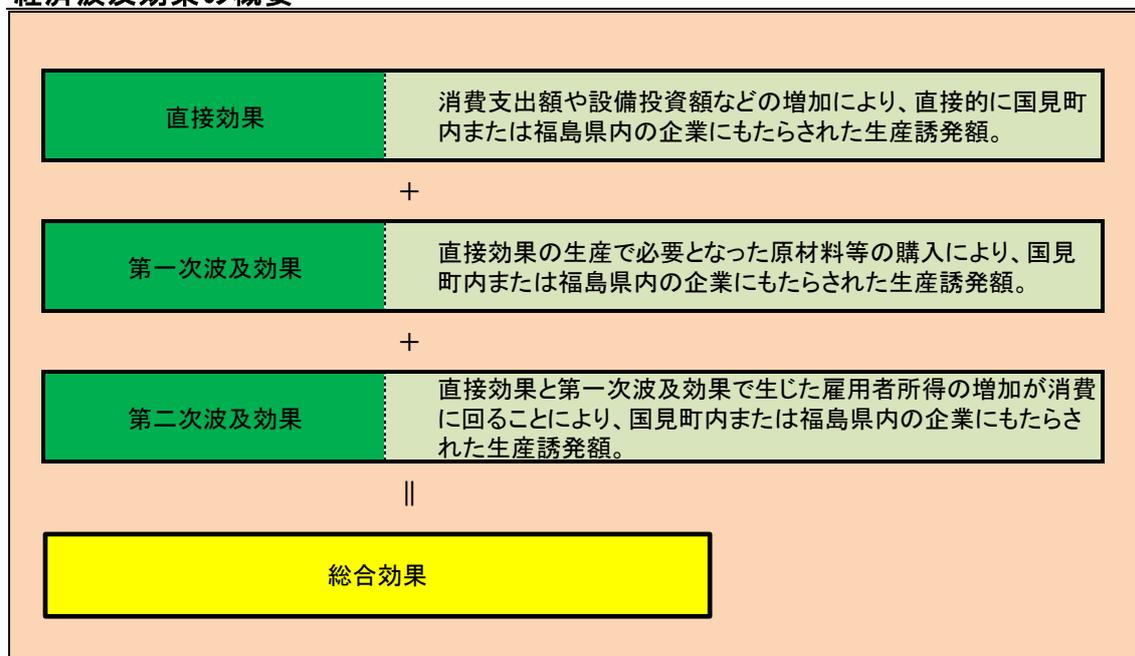
## I. 要約

### 1. 経済波及効果の概要

経済波及効果とは、建設投資などの新たな需要が発生した時、その需要を満たすために次々と新たな生産が誘発される経済的な効果のことをいう。そして、新たな生産が誘発される順序は、下図の通り、直接効果、第一次波及効果、第二次波及効果の順に波及するものと考えられ、3つの効果を合算した総合効果が経済波及効果の合計額となる。

尚、国見町における経済波及効果は当研究所作成の「2015年国見町産業連関表」、福島県における経済波及効果は福島県庁作成の「2015年福島県産業連関表」により試算した。

### 経済波及効果の概要



## 2. 「道の駅国見あつかしの郷」がもたらした経済波及効果の試算結果

「道の駅国見あつかしの郷」が2013年度の設計・調査から2017年度の開業を経て、直近2021年度までの9年間に国見町および福島県にもたらした経済波及効果は、下表の通り、建設投資、設備投資、利用者の消費支出、従業員の消費支出の4つの側面が考えられる。

経済波及効果の試算結果をみると、生産誘発額の合計では国見町が69億73百万円、福島県が116億91百万円となり、福島県全体に波及した経済効果のうち、約6割が国見町にとどまり、残りの約4割が国見町以外の県内市町村に波及したものとみられる。

### 「道の駅国見あつかしの郷」がもたらした経済波及効果の4つの側面

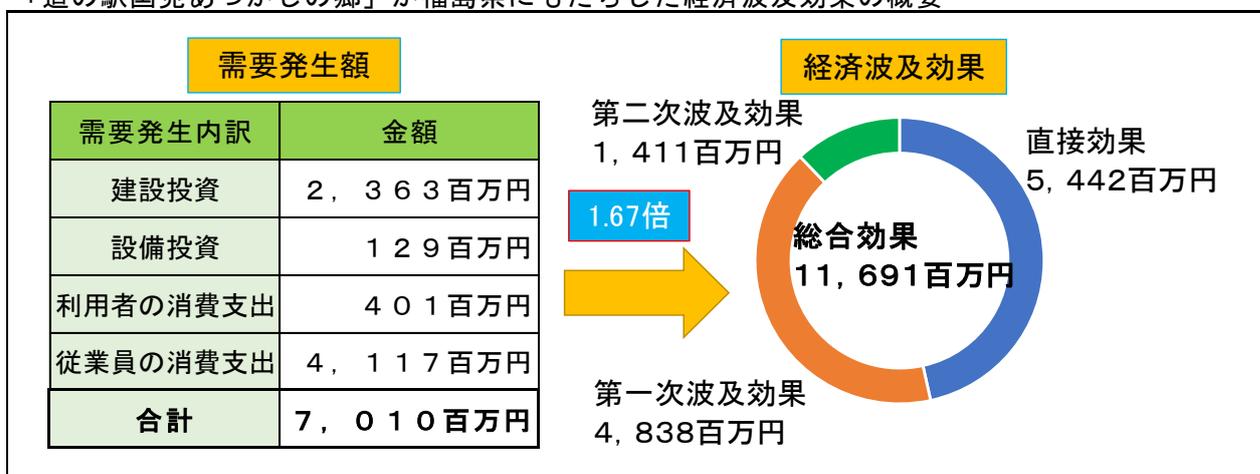
1	建設投資	施設建設に関わる建設費および設計・調査費、土地造成費がもたらす経済波及効果
2	設備投資	施設に導入する備品購入費やシステム導入費、機器設置委託料等がもたらす経済波及効果
3	利用者の消費支出	施設利用者が施設内で物品購入などにより消費した支出額がもたらす経済波及効果
4	従業員の消費支出	施設に就職した従業員が国見町内や福島県内で物品購入などにより消費した支出額がもたらす経済波及効果

### 「道の駅国見あつかしの郷」が国見町と福島県にもたらした経済波及効果

(単位:百万円)

項目	国見町	福島県
1 建設投資	3,191	3,818
2 設備投資	47	91
3 利用者の消費支出	3,405	7,091
4 従業員の消費支出	330	691
合計	6,973	11,691

### 「道の駅国見あつかしの郷」が福島県にもたらした経済波及効果の概要



## II. 国見町における経済波及効果

### 1. 「道の駅国見あつかしの郷」建設による経済波及効果

#### (1) 「道の駅国見あつかしの郷」建設投資額

2013年度から2018年度までの「道の駅国見あつかしの郷」の建設投資額をみると、施設建設費が20億40百万円、設計・調査費が1億82百万円、土地造成費が1億41百万円で、合計額は23億63百万円となっている。尚、新たな生産を生み出さない用地購入費および用地補償費は経済波及効果試算の対象外となる。

#### 「道の駅国見あつかしの郷」建設投資額 (単位:百万円)

項目	金額	支出内容等
施設建設費	2,040	
設計・調査費	182	地質調査、測量等
土地造成費	141	
合計	2,363	

注：用地購入費および用地補償費は除く。

#### (2) 経済波及効果の試算

##### A. 直接効果

直接効果は、産業分類により施設建設費及び土地造成費を「建設業」、設計・調査費を「対事業所サービス」に割り振った上で町内自給率<sup>注1)</sup>を乗じ、22億22百万円と試算される。

##### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

直接効果に投入係数<sup>注2)</sup>を乗じて求めた原材料等需要額11億81百万円のうち町内の原材料等需要額は5億73百万円と試算されるため、逆行列係数<sup>注3)</sup>により算出した第一次波及効果は生産誘発額で7億21百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額9億37百万円が町内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で2億48百万円と算出される。

##### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は31億91百万円、粗付加価値誘発額は15億19百万円、雇用者所得誘発額は9億88百万円、就業者誘発数は171人と推計される。

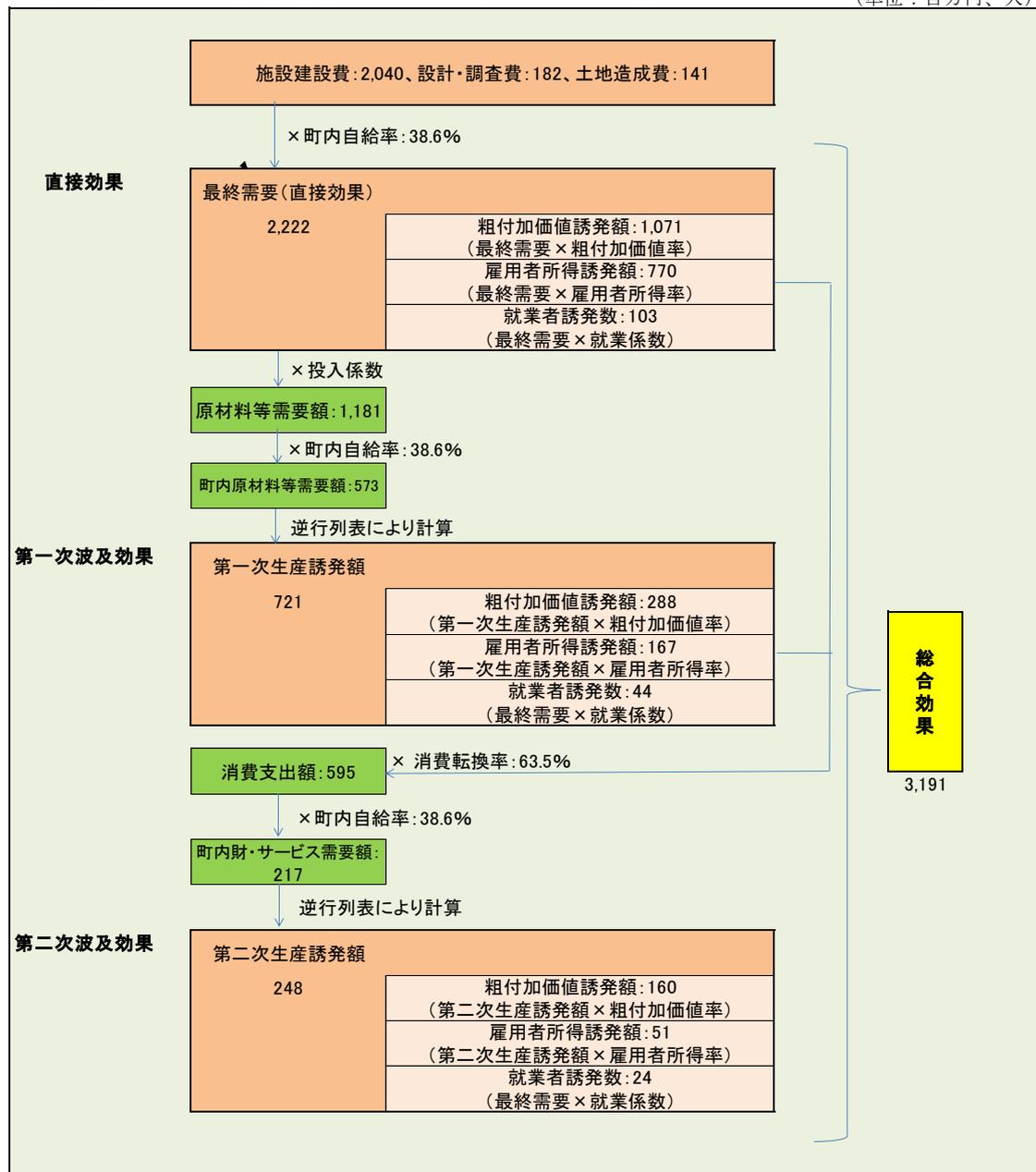
注1) 町内(県内)自給率は、生産に必要な原材料等の町内(県内)調達割合。尚、産業連関表では、「建設業」の投資額は自給率100%で直接効果を生み出すという考え方である。

注2) 投入係数は、ある産業が1単位生産するのに必要な原材料等の産業別の調達割合。

注3) 逆行列表係数は、ある産業が1単位生産した時、各産業に生産波及する度合い。

「道の駅国見あつかしの郷」建設による経済波及効果算出のフローチャート(国見町)

(単位: 百万円、人)



総合効果(国見町)

(単位: 百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	2,222	721	248	3,191
うち粗付加価値誘発額	1,071	288	160	1,519
うち雇用者所得誘発額	770	167	51	988
就業者誘発数	103	44	24	171

## 2. 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資による経済波及効果

### (1) 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資額

2013年度から2018年度までの「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資額を産業別にみると、「商業」が1億19百万円、「電気機械」が3百万円、「対事業所サービス」が7百万円、合計で1億29百万円となっている。

#### 「道の駅国見あつかしの郷」設備投資額 (単位:百万円)

業種	金額	支出内容等
商業	119	備品購入費等
電気機械	3	入出金システム導入費
対事業所サービス	7	機器設置委託料等
合計	129	

### (2) 経済波及効果の試算

#### A. 直接効果

直接効果は、「商業」「電気機械」「対事業所サービス」それぞれに対する設備投資により必要となる生産額を総務省「固定資本マトリックス」注4)を基に産業別に割り振った上で町内自給率を乗じて求め、33百万円と試算される。

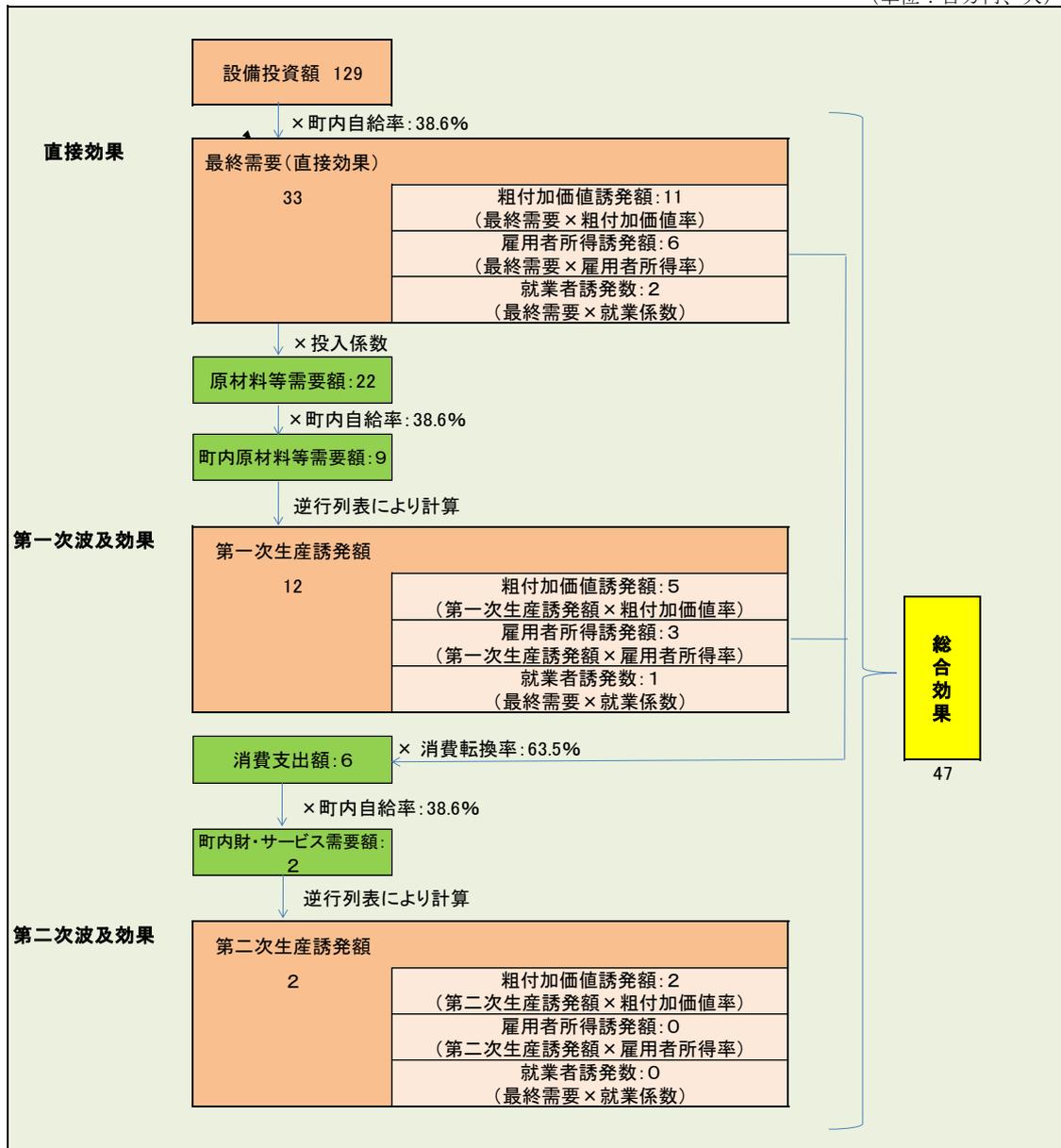
#### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

直接効果に投入係数を乗じて求めた原材料等需要額22百万円のうち町内の原材料等需要額は9百万円と試算されるため、逆行列係数により算出した第一次波及効果は生産誘発額で12百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額9百万円が町内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で2百万円と算出される。

#### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は47百万円、粗付加価値誘発額は18百万円、雇用者所得誘発額は9百万円、就業者誘発数は3人と推計される。

注4) 固定資本マトリックスは、産業別に設備投資に関わる生産割合を示した係数表。



総合効果(国見町)

(単位: 百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	33	12	2	47
うち粗付加価値誘発額	11	5	2	18
うち雇用者所得誘発額	6	3	0	9
就業者誘発数	2	1	0	3

### 3. 「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出による経済波及効果

#### (1) 利用者の消費支出額

「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出額をみると、2017年度から2021年度までの合計は41億17百万円となっている。

「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出額

(単位:百万円)

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
857	858	843	776	782	4,117

#### (2) 経済波及効果の試算

##### A. 直接効果

直接効果は、国見町の産業連関表における「家計消費」の産業別構成比で消費支出額41億17百万円を各産業に割り振った上で町内自給率を乗じて求め、15億13百万円と試算される。

##### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

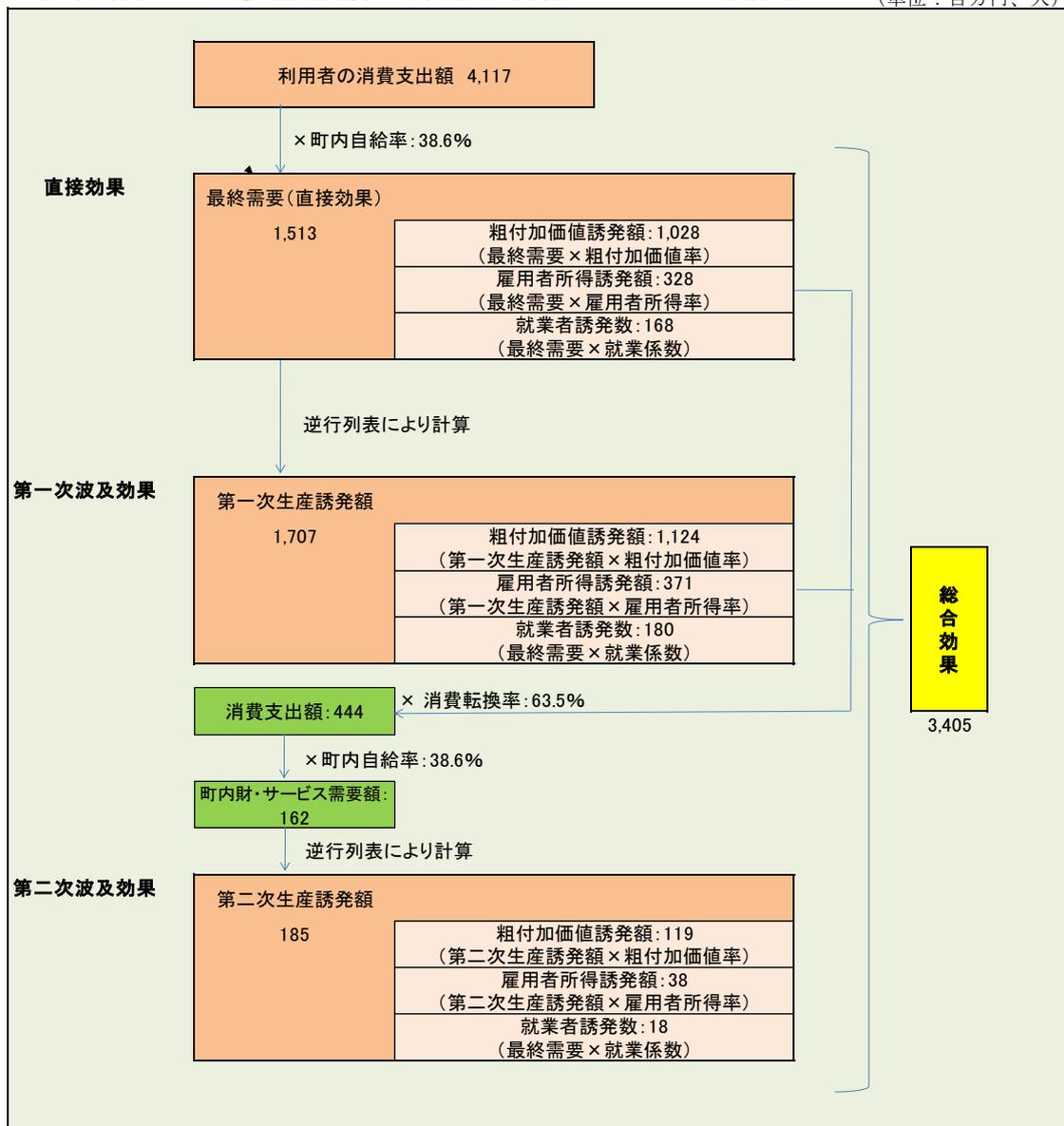
第一次波及効果は、直接効果15億13百万円を基に逆行列係数により算出し、生産誘発額で17億7百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額6億99百万円が町内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で1億85百万円と算出される。

##### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は34億5百万円、粗付加価値誘発額は22億71百万円、雇用者所得誘発額は7億37百万円、就業者誘発数は366人と推計される。

「道の駅国見あつかしの郷」の利用者消費による経済波及効果算出のフローチャート(国見町)

(単位：百万円、人)



総合効果(国見町)

(単位：百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	1,513	1,707	185	3,405
うち粗付加価値誘発額	1,028	1,124	119	2,271
うち雇用者所得誘発額	328	371	38	737
就業者誘発数	168	180	18	366

#### 4. 「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果

##### (1) 従業員の給与による消費支出額

「道の駅国見あつかしの郷」の開業による雇用創出は、新たに支払われた従業員の給与を通じて国見町の消費支出増加に寄与するものと推察される。

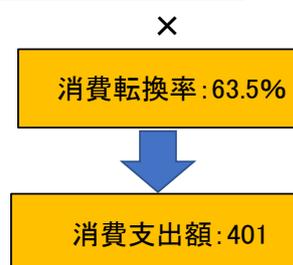
2017年度から2021年度までの「道の駅国見あつかしの郷」従業員の給与は合計で6億32百万円となり、このうち消費支出に割り当てる割合を示す消費転換率が63.5%であることから、消費支出額は4億1百万円と試算される。

「道の駅国見あつかしの郷」従業員の給与による消費支出額 (単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
給与	160	125	118	109	120	632

資料:総務省「家計調査年報」

注:福島市の総世帯のうち勤労者世帯。消費転換率は、消費支出額÷勤め先収入。



##### (2) 経済波及効果の試算

###### A. 直接効果

直接効果は、国見町の産業連関表における「家計消費」の産業別構成比で消費支出額4億1百万円を各産業に割り振った上で町内自給率を乗じて求め、1億46百万円と試算される。

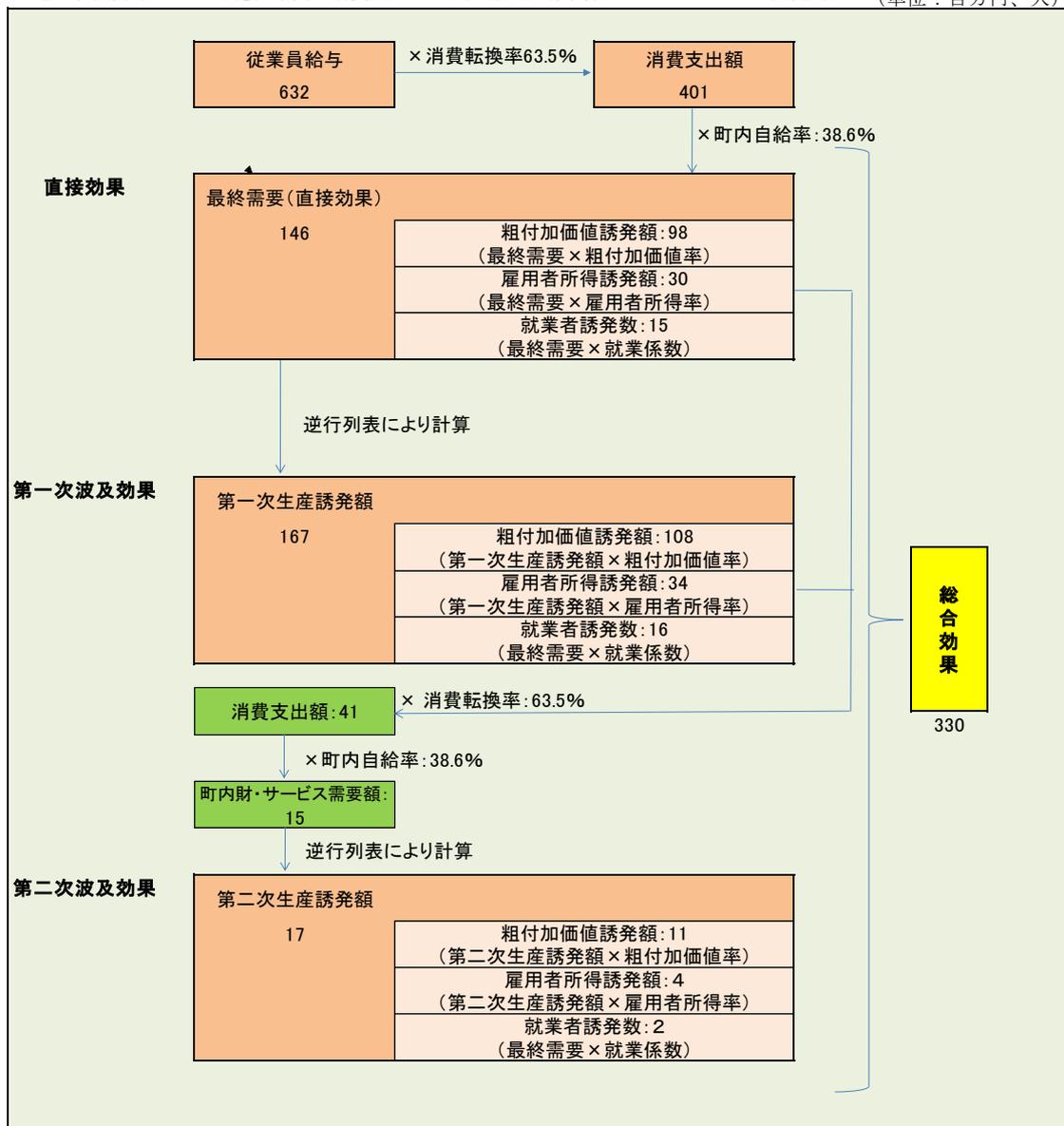
###### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

第一次波及効果は、直接効果1億46百万円を基に逆行列係数により算出し、生産誘発額で1億67百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額64百万円が町内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で17百万円と算出される。

###### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は3億30百万円、粗付加価値誘発額は2億17百万円、雇用者所得誘発額は68百万円、就業者誘発数は33人と推計される。

「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果算出のフローチャート(国見町) (単位：百万円、人)



総合効果(国見町)

(単位：百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	146	167	17	330
うち粗付加価値誘発額	98	108	11	217
うち雇用者所得誘発額	30	34	4	68
就業者誘発数	15	16	2	33

### Ⅲ. 福島県における経済波及効果

#### 1. 「道の駅国見あつかしの郷」建設による経済波及効果

##### (1) 「道の駅国見あつかしの郷」建設投資額

2013年度から2018年度までの「道の駅国見あつかしの郷」の建設投資額をみると、施設建設費が20億40百万円、設計・調査費が1億82百万円、土地造成費が1億41百万円で、合計額は23億63百万円となっている。尚、新たな生産を生み出さない用地購入費および用地補償費は経済波及効果試算の対象外となる。

##### 「道の駅国見あつかしの郷」建設投資額 (単位:百万円)

項目	金額	支出内容等
施設建設費	2,040	
設計・調査費	182	地質調査、測量等
土地造成費	141	
合計	2,363	

注：用地購入費および用地補償費は除く。

##### (2) 経済波及効果の試算

###### A. 直接効果

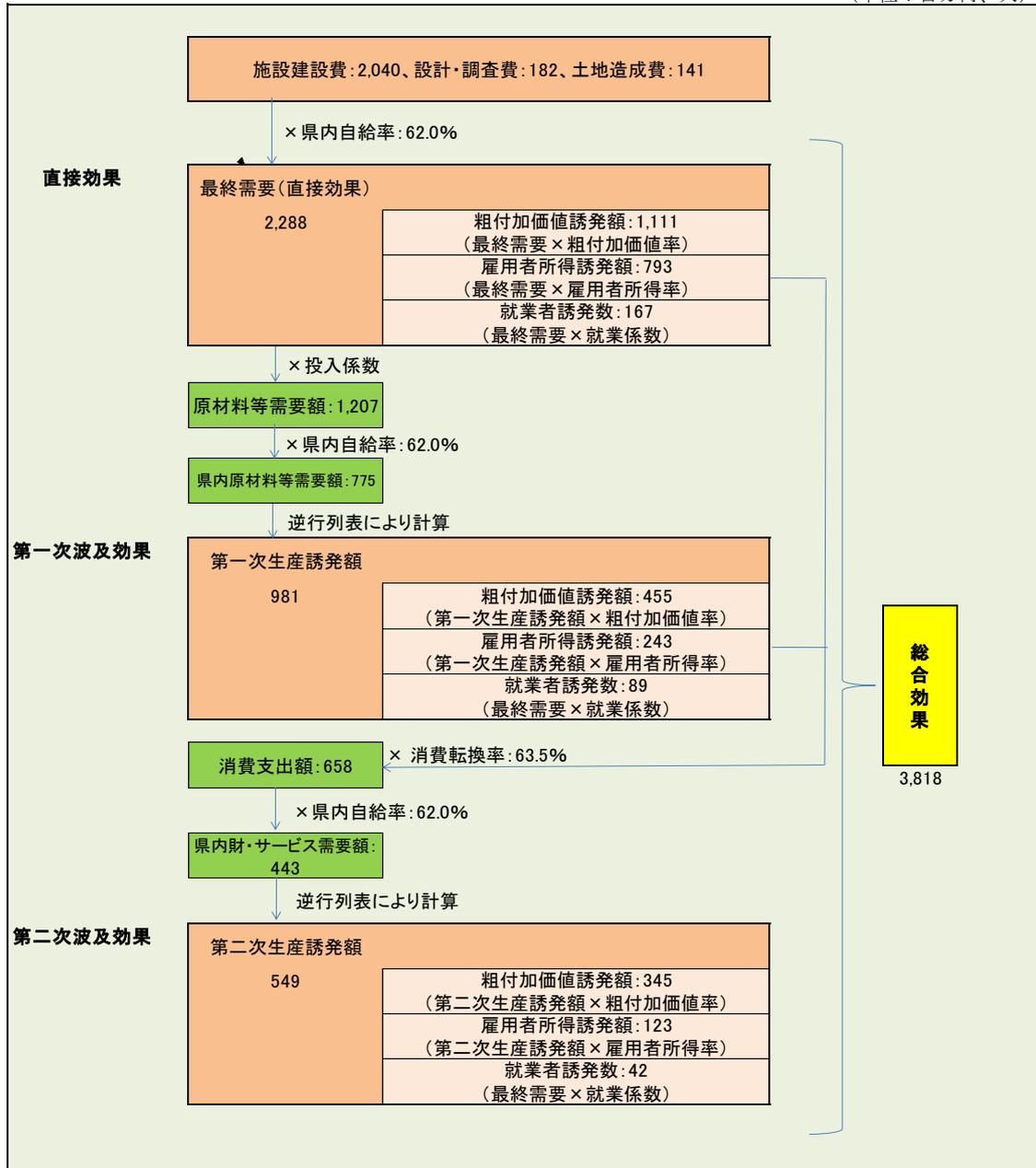
直接効果は、産業分類により施設建設費および土地造成費を「建設業」、設計・調査費を「対事業所サービス」にそれぞれ割り振った上で県内自給率を乗じて求め、22億88百万円と試算される。

###### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

直接効果に投入係数を乗じて求めた原材料等需要額12億7百万円のうち県内の原材料等需要額は7億75百万円と試算されるため、逆行列係数により算出した第一次波及効果は生産誘発額で9億81百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額10億36百万円が県内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で5億49百万円と算出される。

###### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は38億18百万円、粗付加価値誘発額は19億11百万円、雇用者所得誘発額は11億59百万円、就業者誘発数は298人と推計される。



総合効果(福島県)

(単位: 百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	2,288	981	549	3,818
うち粗付加価値誘発額	1,111	455	345	1,911
うち雇用者所得誘発額	793	243	123	1,159
就業者誘発数	167	89	42	298

## 2. 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資による経済波及効果

### (1) 「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資額

2013年度から2018年度までの「道の駅国見あつかしの郷」の設備投資額を産業別にみると、「商業」が1億19百万円、「電気機械」が3百万円、「対事業所サービス」が7百万円、合計で1億29百万円となっている。

#### 「道の駅国見あつかしの郷」設備投資額 (単位:百万円)

業種	金額	支出内容等
商業	119	備品購入費等
電気機械	3	入出金システム導入費
対事業所サービス	7	機器設置委託料等
合計	129	

### (2) 経済波及効果の試算

#### A. 直接効果

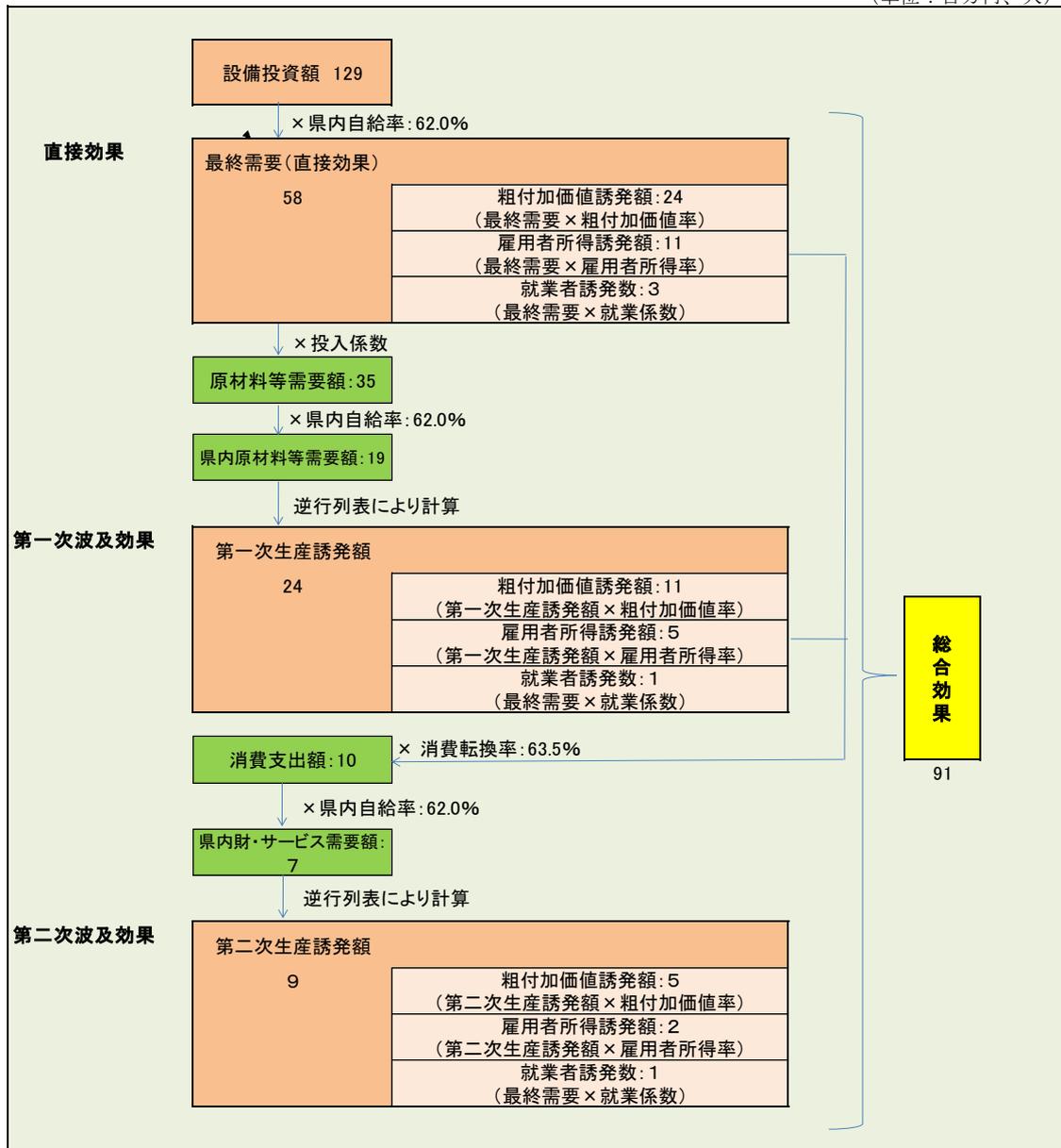
直接効果は、「商業」「電気機械」「対事業所サービス」それぞれに対する設備投資により必要となる生産額を総務省「固定資本マトリックス」を基に産業別に割り振った上で県内自給率を乗じて求め、58百万円と試算される。

#### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

直接効果に投入係数を乗じて求めた原材料等需要額35百万円のうち県内の原材料等需要額は19百万円と試算されるため、逆行列係数により算出した第一次波及効果は生産誘発額で24百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額16百万円が県内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で9百万円と算出される。

#### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は91百万円、粗付加価値誘発額は40百万円、雇用者所得誘発額は18百万円、就業者誘発数は5人と推計される。



総合効果(福島県)

(単位:百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	58	24	9	91
うち粗付加価値誘発額	24	11	5	40
うち雇用者所得誘発額	11	5	2	18
就業者誘発数	3	1	1	5

### 3. 「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出による経済波及効果

#### (1) 利用者の消費支出額

「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出額をみると、2017年度から2021年度までの合計は41億17百万円となっている。

「道の駅国見あつかしの郷」利用者の消費支出額 (単位:百万円)

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
857	858	843	776	782	4,117

#### (2) 経済波及効果の試算

##### A. 直接効果

直接効果は、福島県の産業連関表における「家計消費」の産業別構成比で消費支出額41億17百万円を各産業に割り振った上で県内自給率を乗じて求め、28億21百万円と試算される。

##### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

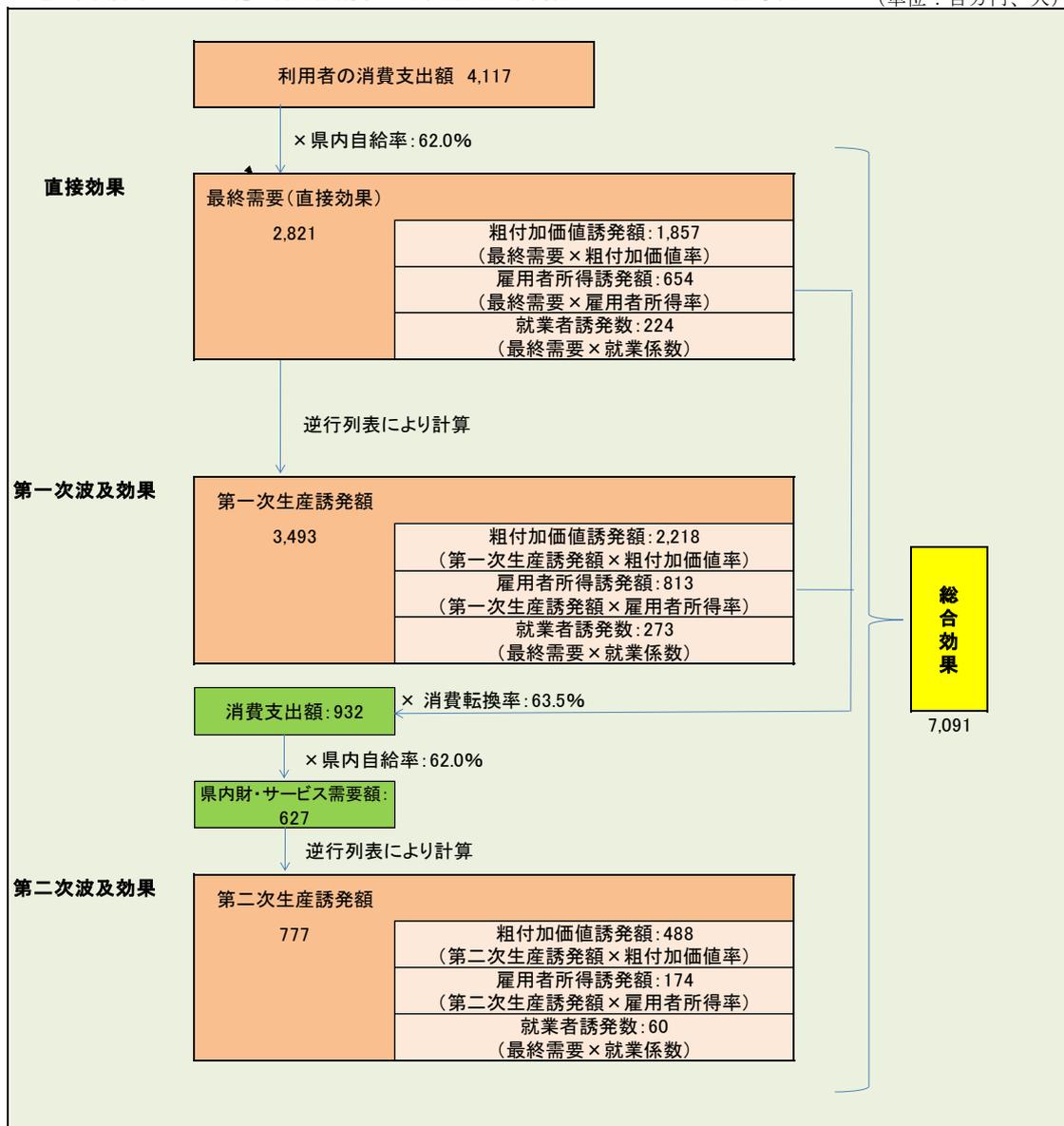
第一次波及効果は、直接効果28億21百万円を基に逆行列係数により算出し、生産誘発額で34億93百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額14億67百万円が県内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で7億77百万円と算出される。

##### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は70億91万円、粗付加価値誘発額は45億63百万円、雇用者所得誘発額は16億41百万円、就業者誘発数は557人と推計される。

「道の駅国見あつかしの郷」の利用者消費による経済波及効果算出のフローチャート(福島県)

(単位：百万円、人)



総合効果(福島県)

(単位：百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	2,821	3,493	777	7,091
うち粗付加価値誘発額	1,857	2,218	488	4,563
うち雇用者所得誘発額	654	813	174	1,641
就業者誘発数	224	273	60	557

#### 4. 「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果

##### (1) 従業員の給与による消費支出額

「道の駅国見あつかしの郷」の開業による雇用創出は、新たに支払われた従業員の給与を通じて国見町の消費支出増加に寄与するものと推察される。

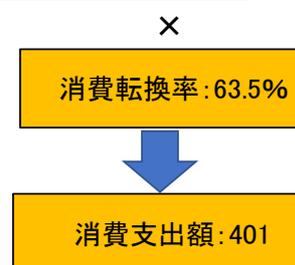
2017年度から2021年度までの「道の駅国見あつかしの郷」従業員の給与は合計で6億32百万円となり、このうち消費支出に割り当てる割合が63.5%であることから、消費支出額は4億1百万円と試算される。

「道の駅国見あつかしの郷」従業員の給与による消費支出額 (単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
給与	160	125	118	109	120	632

資料:総務省「家計調査年報」

注:福島市の総世帯のうち勤労者世帯。消費転換率は、消費支出額÷勤め先収入。



##### (2) 経済波及効果の試算

###### A. 直接効果

直接効果は、福島県の産業連関表における「家計消費」の産業別構成比で消費支出額4億1百万円を各産業に割り振った上で県内自給率を乗じて求め、2億75百万円と試算される。

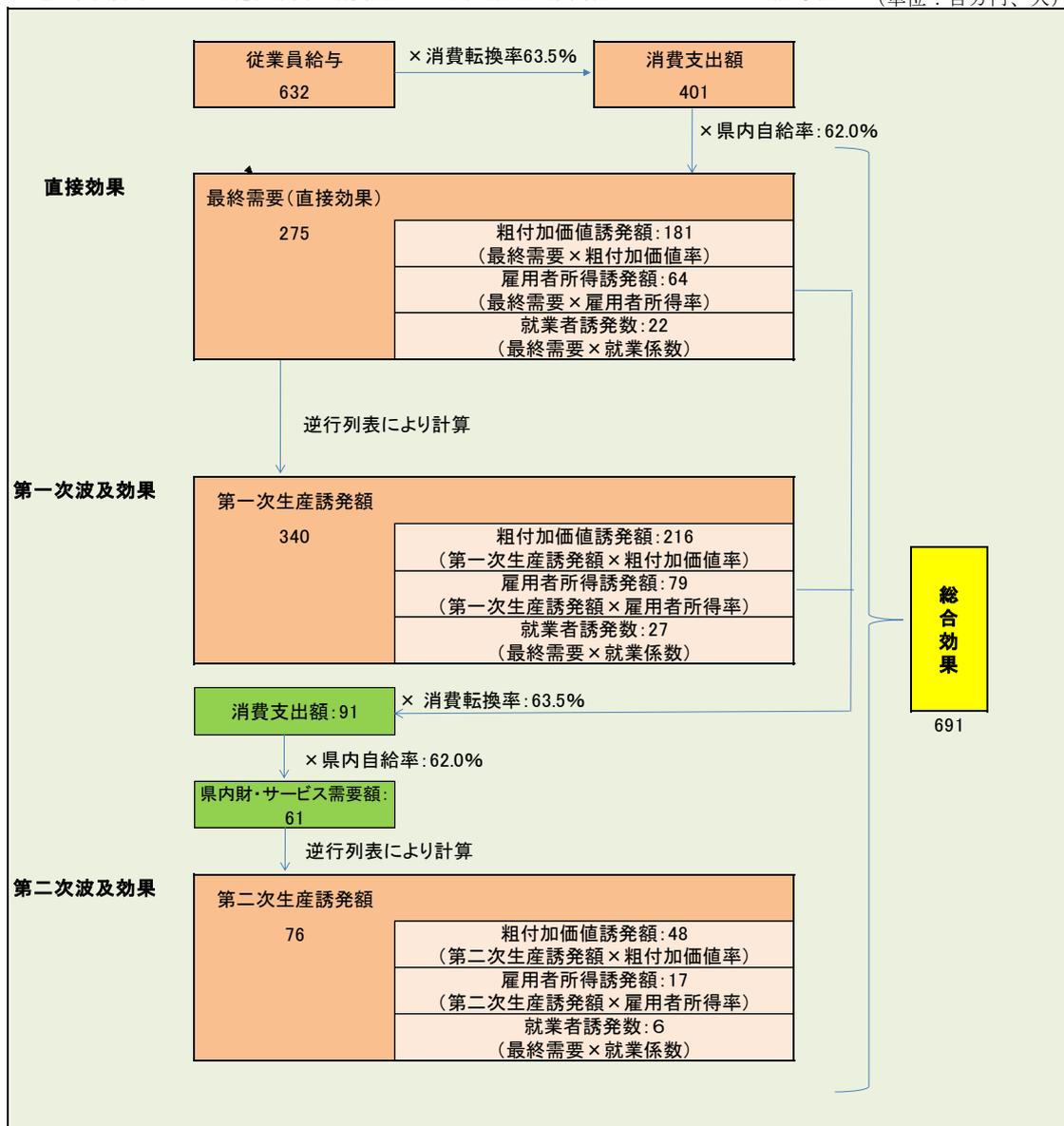
###### B. 第一次波及効果および第二次波及効果

第一次波及効果は、直接効果2億75百万円を基に逆行列係数により算出し、生産誘発額で3億40百万円と推計される。また、第二次波及効果は、直接効果および第一次波及効果の中で推計した雇用者所得合計額1億43百万円が県内経済に与える効果を算出しており、生産誘発額で76百万円と算出される。

###### C. 総合効果

以上より、直接効果および第一次波及効果、第二次波及効果の結果から総合効果を算出すると、生産誘発額は6億91百万円、粗付加価値誘発額は4億45百万円、雇用者所得誘発額は1億60百万円、就業者誘発数は55人と推計される。

「道の駅国見あつかしの郷」従業員の消費支出による経済波及効果算出のフローチャート(福島県) (単位:百万円、人)



総合効果(福島県)

(単位:百万円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	合計
生産誘発額	275	340	76	691
うち粗付加価値誘発額	181	216	48	445
うち雇用者所得誘発額	64	79	17	160
就業者誘発数	22	27	6	55

#### IV. 分析

##### 1. 売上実績額と売上目標額の比較

利用者の消費支出額と同義の売上実績額を「道の駅国見あつかしの郷」が当初目指していた売上目標額と比較すると、2020年度を除いて売上実績額が目標額を上回り、合計では実績額が41億17百万円と目標額39億56百万円を1億61百万円上回った。

次に、売上目標額を達成した場合の経済波及効果を生産誘発額で試算すると、国見町にもたらす額が32億72百万円、福島県にもたらす額が68億14百万円と推計される。

以上により、「道の駅国見あつかしの郷」の利用者消費による売上実績額がもたらした経済波及効果をみると、生産誘発額では国見町で1億33百万円、福島県で2億77百万円それぞれ売上目標額による経済波及効果を上回ったものとみられる。

「道の駅国見あつかしの郷」の売上目標額と実績額

(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
売上実績額	857	858	843	776	782	4,117
売上目標額	758	800	817	817	764	3,956
差異 (実績額－目標額)	99	58	26	△ 41	18	161

注:売上実績額は利用者の消費支出額と同義。

##### 「道の駅国見あつかしの郷」売上実績と売上目標の経済波及効果による比較

(単位:百万円)

	国見町	福島県
売上実績額	3,405	7,091
売上目標額	3,272	6,814
差異(実績額－目標額)	133	277

注:売上実績額は利用者の消費支出額と同義。上表の数値は経済波及効果における総合効果の生産誘発額。

##### 2. 町内(県内)総生産に対する影響度

「道の駅国見あつかしの郷」の経済波及効果が国見町および福島県の経済成長にどの程度寄与したのかについて確認してみる。そこで、下表の通り、2013年度から2021年度まで9年間の「道の駅国見あつかしの郷」による経済波及効果が国見町の町内総生産、福島県の県内総生産をそれぞれ年度平均でどの程度押し上げたのかについて試算した。

直近2019年度における国見町の名目町内総生産額265億34百万円および福島県の名目県内総生産額7兆9,870億42百万円を基準に町内(県内)総生産増加率を試算する

と、国見町では年度平均粗付加価値額注5)が3億73百万円で町内総生産増加率が+1.4%、福島県では年度平均粗付加価値額が6億35百万円で県内総生産増加率が+0.01%となった。

この結果から、「道の駅国見あつかしの郷」の開業により、国見町では町内総生産を1.4%、福島県では県内総生産を0.01%毎年度9年間にわたって押し上げるのに匹敵する経済波及効果が引き起こされたものと考えられる。

注5) 産業連関表の家計外消費支出を除いた粗付加価値額は町内(県内)総生産額とほとんど等しい。

国見町および福島県の名目町内(県内)総生産に対する影響度 (単位: 百万円、%)

	A. 総合効果による年度平均生産誘発額	B. 粗付加価値率	C. 年度平均粗付加価値額 C=A×B	D. 名目町内(県内)総生産額	E. 名目町内(県内)総生産増加率 E=C÷D×100
国見町	775	48.2	373	26,534	1.4
福島県	1,299	48.9	635	7,987,042	0.01

資料: 福島県「福島県民経済計算年報」「福島県市町村民経済計算年報」

注: 粗付加価値率は、「2015年国見町産業連関表」で家計外消費支出を差し引いた粗付加価値額を総生産額で除した値。名目町内(県内)総生産額は2019年度分。総合効果による年度平均生産誘発額は、総合効果の生産誘発合計額÷9年。

### 3. 国見町と県内他市町村にもたらされた経済波及効果の比較

国見町と県内他市町村にもたらされた経済波及効果を比較すると、建設投資では国見町が31億91百万円(構成比83.6%)、県内他市町村が6億27百万円(同16.4%)、設備投資では国見町が47百万円(同51.6%)、県内他市町村が44百万円(同48.4%)、利用者の消費支出では国見町が34億5百万円(同48.0%)、県内他市町村が36億86百万円(同52.0%)、従業員の消費支出では国見町が3億30百万円(同47.8%)、県内他市町村が3億61百万円(同52.2%)となり、合計では国見町が69億73百万円(同59.6%)、県内他市町村が47億18百万円(同40.4%)と試算される。

この結果から、生産誘発額合計では、福島県全体に波及した経済効果のうち、約6割が国見町にとどまり、残りの約4割が国見町以外の県内市町村に波及したものとみられる。また、項目別の経済波及効果をみると、建設投資では8割以上が国見町にもたらされたものと試算されるが、設備投資や利用者の消費支出、従業員の消費支出では国見町と県内他市町村がそれぞれ5割程度となっている。

以上の通り、「道の駅国見あつかしの郷」の経済波及効果が国見町にとどまらず、県内他市町村に流出しているのは、生産に関わる原材料等の町内調達割合を示す町内自給率が38.6%(福島県の県内自給率62.0%)と相対的に低いことが一因と考えられる。

「道の駅国見あつかしの郷」が国見町と県内各市町村にもたらした経済波及効果 (単位:百万円、%)

項目		福島県合計		
		国見町	国見町以外の県内市町村	
1	建設投資	3,191	627	3,818
		83.6	16.4	100.0
2	設備投資	47	44	91
		51.6	48.4	100.0
3	利用者の消費支出	3,405	3,686	7,091
		48.0	52.0	100.0
4	従業員の消費支出	330	361	691
		47.8	52.2	100.0
合計		6,973	4,718	11,691
		59.6	40.4	100.0

注:下段の数値は構成比。

## V. 結論

2013年度から2021年度までの「道の駅国見あつかしの郷」における建設投資、設備投資、利用者の消費支出、従業員の消費支出の4つの側面からみた経済波及効果は、生産誘発額合計で国見町が69億73百万円、福島県が116億91百万円、年度平均粗付加価値で国見町が3億73百万円、福島県が6億35百万円となり、国見町では町内総生産が1.4%、福島県では県内総生産が0.01%毎年度9年間にわたって押し上げられたのに等しい経済効果が認められた。

この結果から、「道の駅国見あつかしの郷」による経済波及効果は、経済規模が名目町内総生産額で約260億円の国見町では経済成長の牽引力として、相応に寄与したものと考えられる。また、売上目標額と実績額をみると、国見町で1億33百万円、福島県で2億77百万円それぞれ売上実績額が売上目標額を上回る経済波及効果が生じたものと推計されるなど、施設利用も当初の見込み以上に活況を呈しているものとみられる。

一方で、国見町と県内各市町村にもたらされた経済波及効果を比較すると、生産誘発額合計では、福島県全体に波及した経済効果のうち、約6割が国見町にとどまったものの、残りの約4割が国見町以外の県内市町村に波及しており、国見町の経済波及効果をさらに高めるには、町内自給率の引き上げが課題となっている。このため、生産に関わる原材料を国見町以外で調達している産業を中心に、町内で産業を創出するなど、投資、生産、消費の好循環が形成される産業構造の再編が求められる。